

クイック・ガーデニング通信

2019 秋号 vol.09

鉢植えで楽しむ「かんきつ」

〈連載〉お客様のお庭拝見

働く世代の暮らしに寄り添うお手入れ

植木カットデザイナーの昼飯

お庭のお手入れの無料お見積り・ご相談はこちら



0120-329-919

受付/9:00~18:00
土・日・祝日も受付

植木屋革命  クイック・ガーデニング

〒183-0016 東京都府中市八幡町3-19-20 サンサティア3階

秋の剪定適期到来

「常緑広葉樹」

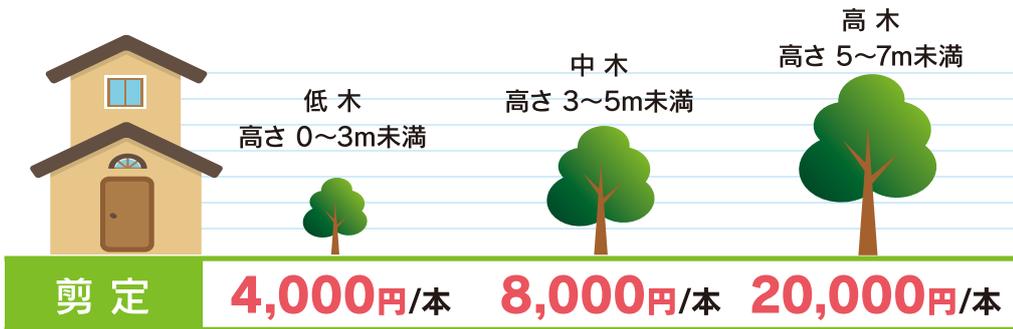
春から夏を経て、樹木は枝葉を伸ばし、一回り大きく成長します。秋の剪定は、「常緑広葉樹」として大切なお手入れです。



お手入れ前 (シマトネリコ)

剪定 (中木) 1本	8,000円
ゴミ処分 (枝葉) 45L×6	3,000円
合計	11,000円

お手入れ後 (シマトネリコ)



*松(マツ)、マキ、高さが7m以上の木は別途お見積りいたします
 *作業で発生したゴミ(枝葉)は、45Lあたり500円にてお引き取りいたします(ゴミは袋詰めしません)
 *直径10cm以上の太い枝や幹は1kgあたり100円にてお引き取りいたします

暮らしにも木にもやさしいお手入れ

一年をとおして緑を楽しめることから、家族の節目を記念するシンボルツリーや垣として人気の「常緑樹」。なかでも、平たく厚みがある葉をもつものを「常緑広葉樹」と呼びます。

常緑広葉樹は、夏の強い日差しよけや、強風よけ、またプライバシーを守る目隠しとしても、私たちの生活に役立つています。そのような役割から常緑広葉樹は、葉が密に茂っているほどよいと思われがちですが、樹木の成長と病害虫予防のために、適度な日当たりと風通しを保つことは大切です。

また、枝葉が茂りすぎると風の抵抗を受けやすくなり、強風のときに枝折れや倒木のリスクが高まります。さらに、枝葉が伸び放題の生垣や庭木は、管理が行き届いていない印象を与えるうえ、不審者の姿を隠すなど防犯上もよくありません。

庭木を健やかに保ち、安心な暮らしを守るためにも定期的な剪定は欠かせないお手入れです。

適期を逃さず年2回の剪定を

常緑広葉樹の剪定適期は4月~11月(猛暑期間を除く)。春と秋の2回、成育サイクルにあわせた方法で剪定します。

●春の「強剪定」

常緑広葉樹は、暖かい地域を原産とするものが多く、寒さにはあまり強くありません。そのため、枝を大きく切つて、木の大きさや形を整える剪定(強剪定)は、成長が旺盛な4月から夏前までにしましょう。

●秋の「軽い剪定」

枝を横に伸ばすように成長する常緑広葉樹は、成長期(春~夏)を経ると、枝葉が込み合います。そのため、9月から冬前に、枝数を整理するよう、軽く剪定をしましょう。秋にかけて台風が多い時期でもあります。枝葉を切り整えておくことで、強風対策にもなります。

落葉期のない常緑広葉樹にとって、大きさを管理し、枝葉の数を整えるお手入れは大切です。年に2回、適期を逃さず剪定しましょう。

主な常緑広葉樹

オリーブ	サツキ
カナメモチ	サザンカ
キンモクセイ	シマトネリコ
	ツバキ
	ツゲ
	ビワ
	モチ

